

## 平成28年の救急出動について

平成28年の救急出動件数は556件（不搬送53件）、搬送人員は507人でした。

区分	計	救急事故種別					管外搬送	
		急病	一般負傷	転院搬送	交通事故	その他		
出動件数	556	343	87	76	24	26	320	
搬送人員	507	313	82	75	25	12	324	
傷病程度	死亡	13	10	2			1	1
	重症	94	54	14	22		4	76
	中等症	210	119	34	48	7	2	164
	軽症	190	130	32	5	18	5	83
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不搬送 53 件</li> <li>・ 平成 27 年の出動件数は 554 件</li> </ul>							

夕張市の平成28年出動状況は、次のとおりです。

- 救急件数は前年比で2件増加しました。（平成27年は554件）
- 出動件数556件中、320件（57.6%）が管外搬送です。
- 搬送人員507人のうち、363人（71.6%）が65歳以上の高齢者です。
- 搬送人員507人のうち、190人（37.5%）が軽症で、そのうち83人（43.7%）が管外搬送されました。

（※1） 傷病程度

死亡：初診時において、死亡が確認されたもの。

重症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症：傷病の程度が重症または軽症以外のもの。

軽症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

平成28年中の夕張市における救急出動件数は556件（対前年比2件増）、搬送人員は507人（対前年比21人増）で、微増となりました。救急出動件数および搬送人員で見ると、最も多かった事故種別は急病343件（61.7%）313人（61.7%）、次いで一般負傷87件（15.6%）82人（16.2%）でした。

傷病程度別（※1）で見ると、軽症190人（37.5%）、中等症210人（41.4%）、重症94人（18.5%）、死亡13人（2.6%）となっており、前年と比較すると中等症での救急要請が増加しました。

全国的に救急出動件数は年々増加しており、平成27年中における全国救急出動件数および搬送人員は過去最多となっています。夕張市の救急出動件数は微増しています。現在、当市における救急体制は高規格救急自動車を2台運用しており、救急出動件数の半数以上は市外へ搬送されています。

また、昨年救急車が2台同時に出動した回数は74回、いわゆる「空白の時間」が約105時間ありました。対応できる救急要請には限りがありますので、引き続き救急自動車の適正利用をお願いいたします。